

「医療のグランドデザイン」策定について

日本医師会は、医療・介護費の抑制だけを目指す政府・行政に対して、国民の目線に立った医療・介護保険制度を提案していくための基本方針として、「医療のグランドデザイン」の策定に着手することを決定いたしました。

□目 的：少子高齢化社会を見据えた医療・介護の中期ビジョンとして「医療のグランドデザイン」を策定し、制度改革の様々な場面において、日本医師会独自の提案をする際の基本方針とします。

□特 徴：政府・行政の念頭にあるのは、財政再建とくに「歳出の削減」です。このため、これまでは最初に医療・介護分野の歳出削減額、つまり財政枠が決まり、その枠の中で給付の切り下げや患者一部負担の引き上げといった、場当たりの制度改革を行う手法が繰り返されてきました。

医療・介護制度は、人口構造や社会情勢の変化、国民のニーズなどに常にマッチしたものでなければなりません。日本医師会の医療のグランドデザインは、医療・介護における需要と供給の将来予測を出発点にして、「良質で安全な医療と介護」を確保する制度を設計します。その上で、設計された制度に必要な財源を確保することを考えます。また、グランドデザインは社会・経済状況に合わせて適時改訂されるべきものと位置づけます。

□進め方：本日 7 月 4 日の常任理事会において、「グランドデザイン・プロジェクトチーム」の設置が承認されました。メンバーは、竹嶋副会長、医療政策担当、保険担当、日医総研担当の各役員、事務局員および日医総研研究員となっており、7 月以降、月 2 回のペースで会合を開き、グランドデザインの策定に向けた準備をします。当面は、(1) グランドデザインの位置づけ (2) 策定作業の基本指針 (3) 過去のグランドデザインの評価と活用などを検討することになります。プロジェクトチームの結論を得た後、1 年程度かけてグランドデザインを策定します。